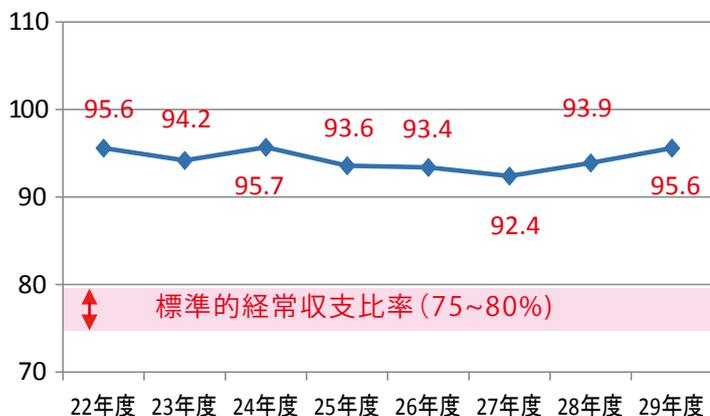


平成29年度 決算6会計を認定

経常収支比率の推移



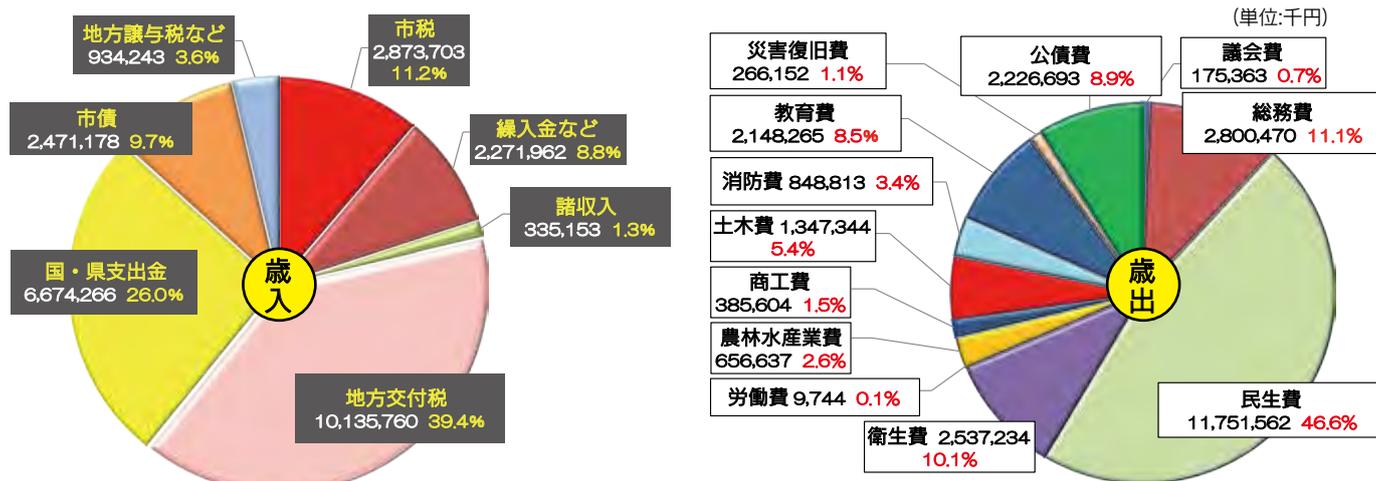
決算特別委員会において、平成29年度の一般会計ほか5会計の決算審査を行いました。

一般会計においては、歳入総額256億9,626万円、歳出総額251億5,388万円とし、歳入歳出差引額は、5億4,238万円となっています。

市の財政状況としては、市税などの自主財源が21・3%、地方交付税や国県支出金などの依存財源が78・7%で、他に頼った自治体運営となっています。

経常収支比率は、95・6%と1・7ポイント上昇し前年度より若干悪化しました。審査の結果、6会計ともに認定されました。

一般会計決算の状況



各会計の決算額

会計	歳入	歳出	差引額	
一般会計	256億9,626万円	251億5,388万円	5億4,238万円	
国民健康保険事業特別会計	60億5,040万円	65億4,440万円	△4億9,400万円	
後期高齢者医療特別会計	6億149万円	5億9,278万円	871万円	
住宅新築資金等貸付事業特別会計	4,110万円	3,773万円	337万円	
介護保険事業特別会計	保険事業勘定	53億645万円	51億4,428万円	1億6,217万円
	サービス事業勘定	7,573万円	7,573万円	0
水道事業会計	収益的収支	7億925万円	5億9,544万円	1億1,381万円
	資本的収支	6億6,507万円	9億5,230万円	△2億8,723万円

※国民健康保険事業会計の不足額は、翌年度歳入繰上充用金で、水道事業会計の不足額は過年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。